



—北アフリカ地域ニュース—

リビア：反政府勢力がブレガを占拠

膠着していたリビア東部戦線で、動きがあった。リビアの反政府勢力は、8月20日朝、東部の都市ブレガを占拠したと発表した。製油施設のある要衝ブレガは、4月以降、リビア政府軍と反政府勢力が戦闘を継続していた都市。2月リビアで抗議行動が拡大した際、ブレガは反政府勢力が抑えたが、3月になると政府軍が反撃に出て、政府軍と反政府勢力が奪回戦を繰り返した。4月以降、政府軍がブレガを支配下に置き、反政府勢力は、ブレガ奪回を図ろうとしてきた。

要人の離反では、19日、反政府勢力は、かつてのカッザーフィー大佐側近で、政権のナンバー2ともいわれたアブドル・サラーム・ジャルードが、リビア西部で反政府勢力の支配する地域に入ったと発表した。ジャルードは、欧州に向かうとされた。

西部では、リビア政府軍が、反政府勢力が占拠したと発表したザーウィヤへの攻撃を強化したと報道されているが、20日のAPは、過去3週間で、政府軍の支配する地域は急速に縮小していると報道した。

(主席研究員 中島 勇)